

特集Ⅱ

R-αリポ酸とCoQ10

糖をエネルギーに代謝し、 体に貯蓄しない

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03-5601-7147)は、「R-α

リポ酸包接体」と「CoQ10包接体」を併用摂取することで両素材が効果的に働き、食事で摂取した糖がエネルギーに代謝されるのを促進する効果を持つことを確認している。

糖代謝がスムーズに行われエネルギーに変わることによって余分な脂質を体内に蓄えなくて済む。また持久力の増加にも繋が

る。

通常、食事で摂取されたブドウ糖は解糖系で代謝されピルビン酸を生成する。ピルビン酸はアセチルCoAに変換され、クエン酸回路、電子伝達系を経て生体エネルギーのATPに誘導される。

この際、ピルビン酸からアセチルCoAへのスムーズな変換のために重要な補酵素がR-αリポ酸であることが知られている。一方、電子

伝達系でCoQ10が補酵素として働くことで糖はスムーズにエネルギーへと変換される。

そのため、R-αリポ

酸やCoQ10が生体内で十分に生合成されていない場合、糖代謝がうまくいかず、糖尿病や肥満、その他の生活習慣病のリスクが高まる。

る。

αリポ酸にはR体とS体

があり、国内市場に出回っているのはRとSを同量含む比較的安定性の高いラセミ体と呼ばれる状態のもの。

R体はエネ

ルギーの変換反応を促進するが、S体はこの反応を阻害する為、ラセミ体ではその効果は低い。しかし、シクロケムがR体の問題点だった胃酸中の安定性をCD包接化することで改善し、R体のみでの製品化が可能になった。

さらに包接化の利点はこれだけではない。αリポ酸が食後に摂取すると吸収されづらいCoQ10は食前に摂取すると吸収されづらいため同時摂取が難しいという問題も、両素材を包接化することで吸収性を高め、同時摂取を可能にしている。

R-αリポ酸とCoQ10による相乗的エネルギー産生促進作用

